

九州地域戦略会議

東日本大震災の九州経済への 影響について

2011年6月7日

(財)九州経済調査協会

CONTENTS

1. 数字でみる九州経済への影響
2. 生産活動への影響
 - (1) 減産・生産停止
 - (2) 代替生産・増産

1. 数字でみる九州経済への影響

東日本大震災による九州GRPへの影響

- 九経調試算では、東日本大震災により、
 - ……九州のGRPは、2,400～6,100億円減少
 - …… 2011年度の九州GRP成長率は0.5～1.2%押し下げされる

影響の内容	生産額への影響 (億円)	GRPへの影響 (億円)	GRP比(%)
① 被災地域の民間企業設備毀損に伴う生産減による影響	▲500 ～ ▲700	▲200 ～ ▲400	▲0.0 ～ ▲0.1
② 関東における電力供給の制約が九州経済へ与える影響	▲2,000 ～ ▲8,300	▲1,000 ～ ▲3,900	▲0.2 ～ ▲0.8
③ 全国的な家計・企業マインドの低下による九州経済への影響	▲1,100 ～ ▲2,200	▲1,800 ～ ▲3,000	▲0.4 ～ ▲0.6
④ 被災地域の復興需要による九州経済への影響	1,700 ～ 3,000	600 ～ 1,200	0.1 ～ 0.2
計	▲1,900 ～ ▲8,200	▲2,400 ～ ▲6,100	▲0.5 ～ ▲1.2

影響の内容

影響が大きいのは、② 関東における電力供給制約と③ 家計・企業マインドの低下

- 東北地域と九州との直接取引は小さく影響は大きくないが、関東とは関係が深く、影響の及ぶ期間が長い
- 全国的な消費マインドの低下で消費活動が減退。九州でも消費者心理面によるマイナスの影響が大きくなる
- 復興需要は、11年度中に5～7.75兆円分のストック再建投資(内閣府試算)に必要な資材需要が発生と仮定

経済指標にみる九州への影響

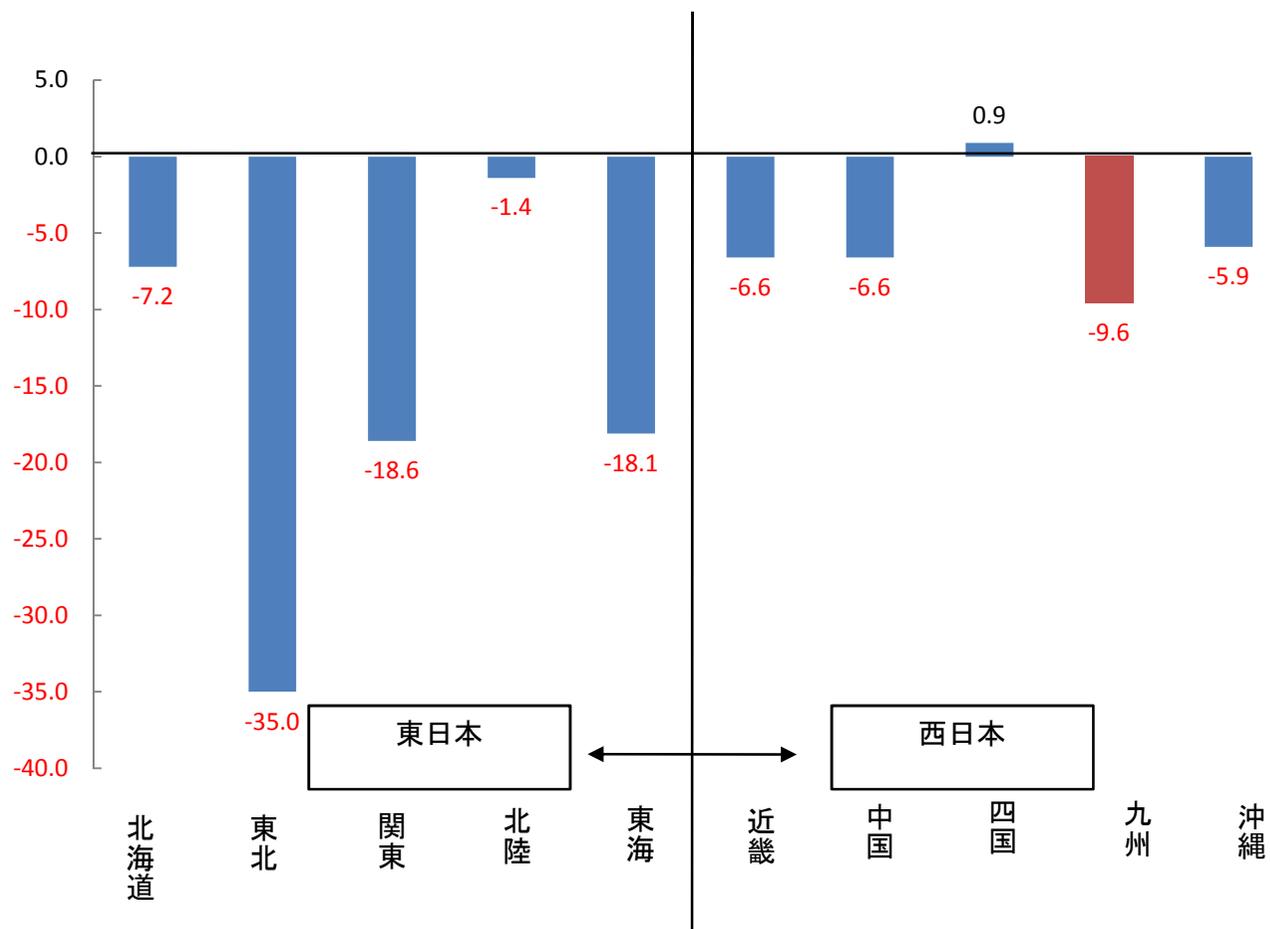
前年同月比(単位:%)

	2011年3月		1995年1月	
	九州	全国	九州	全国
鉱工業生産指数 (季節調整済。前月比)	△9.6	△15.3	3.7	△1.4
自動車生産台数	△50.4	△57.3	7.4	△4.2
集積回路生産金額	△21.5	△20.2	16.1	12.4
粗鋼生産量	41.6	△2.7	16.1	14.6
輸出通関額	1.9	△2.2	4.3	4.5
輸入通関額	17.6	11.9	21.4	22.3
大型小売店販売高	0.7	△6.7	2.9	2.3
百貨店販売高	1.2	△15.4	△3.7	△4.6
スーパー販売高	0.6	△1.5	8.7	9.0
乗用車新規登録・届出台数	△34.0	△37.3	4.2	4.2
家計調査・消費支出	△2.1	△8.5	4.7	△2.5

地域ブロック別に見た生産への影響

■ 九州のマイナス9.6%は、東北、関東、東海に次ぐ落ち込み

地域ブロック別に見た鉱工業生産指数の比較



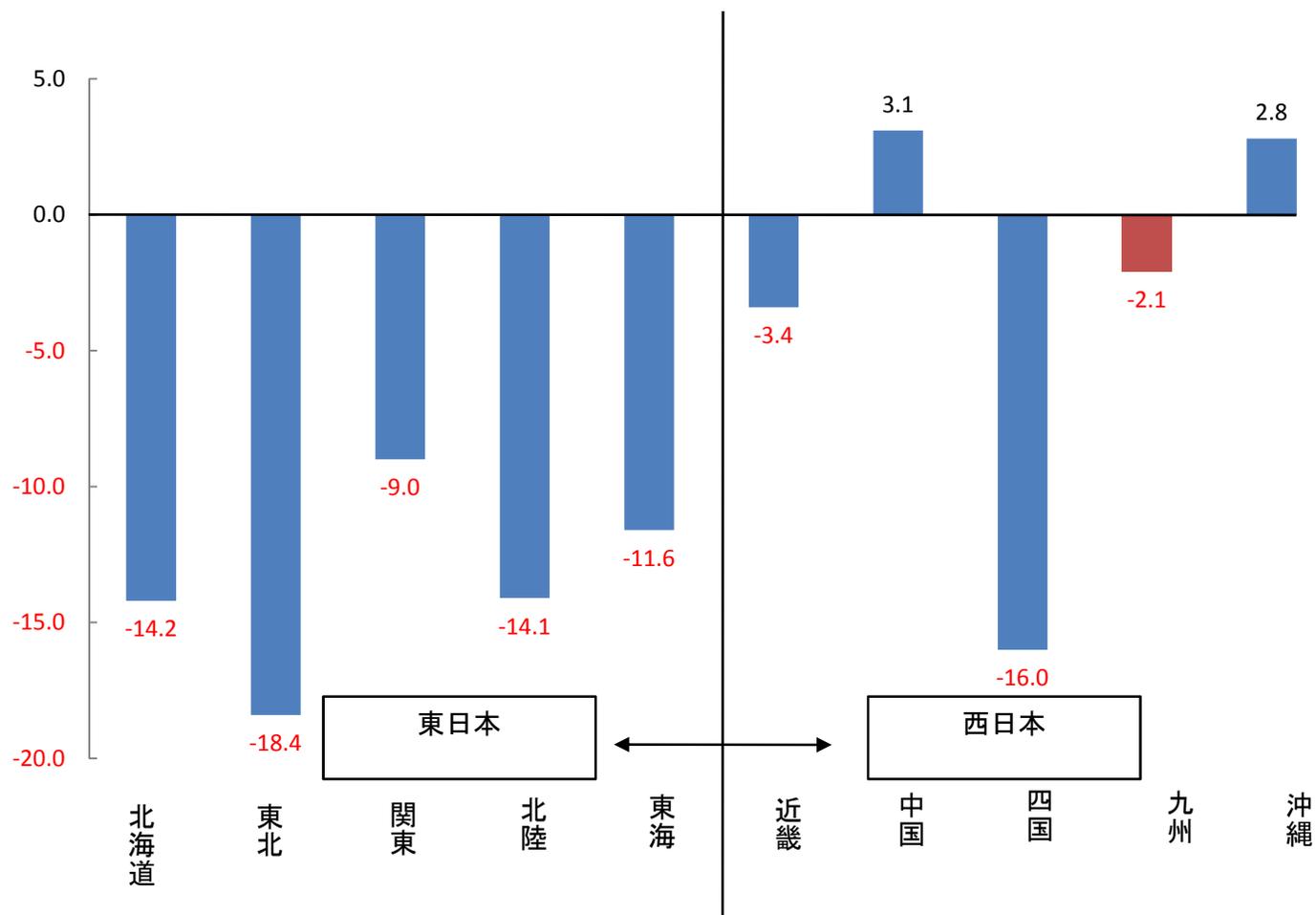
注) 季節調整済値。前月比

資料) 各経済産業局、沖縄県「鉱工業生産指数」

地域ブロック別に見た消費への影響

- 九州のマイナス2.1%は、全国的にみて軽微
- 消費への影響は「西高東低」

地域ブロック別に見た家計消費支出の比較(前年同月比)



注) 家計消費支出は原数値。前年同月比

資料) 総務省「家計調査」

2. 生産活動への影響

(1) 減産・生産停止

九州の主要企業に及んだ減産・生産停止

- 九州においては、生産面では、とりわけ自動車生産台数への影響が最も大きかった
- 阪神大震災がおきた1995年1月と比較しても、今回の震災の影響は大きい
- しかし回復テンポは早い。日産自動車・トヨタ自動車ともに6月は9割～震災前計画に回復

九州の主要企業に及んだ減産・生産停止状況

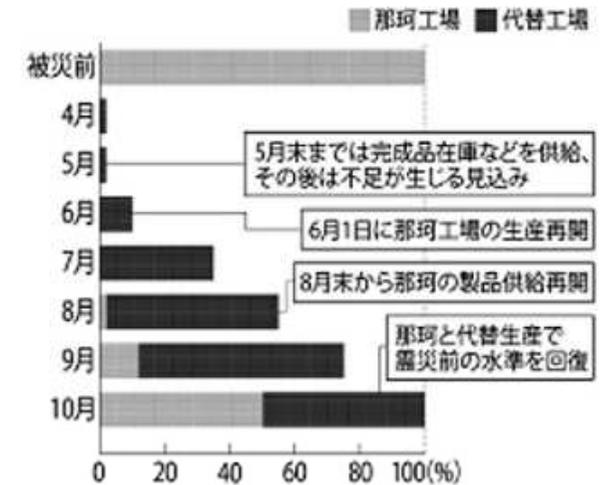
企業名	内容
トヨタ自動車九州	3月17日に部品の生産を再開。3月28日にハイブリッド系の車種(レクサスHS250h、レクサスCT200h)について生産を再開。4月18日から全9車種について前年比7割の生産
日産自動車(九州工場)	4月13日から(サプライヤーからの部品供給に基づくプロセスで)車両生産を開始。いわき工場(ユニット工場)は4月18日より生産を開始し、5月9日から九州工場へのエンジン供給を再開
ダイハツ九州	3月22日から第一工場が稼働。4月11日から第二工場でも稼働。5月6日から8、9割の生産。6月1日から通常生産
ホンダ熊本製作所	震災後、3月14日に稼働。15日～27日まで休止し、3月28日より通常の水準で生産を再開したが、9日間の休止分を取り返すために休日出勤で対応した。
アイシン九州	震災後1週間ほどで、1、2割程度の生産を開始。3週間ほどでトヨタ工場の再開をうけ5割程度の生産に。GW明けから7、8割の生産。現在はほぼ100%の生産。
長崎キャノン	3月25日から操業再開。四月は部品の供給状態からバラつきのある生産。4月23日から5月8日まで休業し、5月9日から部品の供給が戻り9割以上の生産に。
大分キャノン	4月1日から操業再開。5月13日までは部品の供給状態からバラつきのある生産。5月16日からほぼ100%の水準で生産。

九州の生産に大きな影響を及ぼした被災工場

ルネサスエレクトロニクス(那珂工場)

- 被災した那珂工場はマイコン(マイクロコントローラ)の製造拠点。
- ルネサスのマイコン世界シェアは29%。そのうち那珂工場は4分の1で世界の7%を占める
- マイコンの用途は多様(家電20%、自動車40%、産業用機械25%等)
- ルネサスと直接取引のある九州企業は少数だが、家電メーカーや自動車メーカーの親企業がルネサスの部品を使用
- ルネサスのマイコンが供給されないため、全体の生産がストップしている状態

ルネサスエレクトロニクス那珂工場の復旧と代替生産による供給

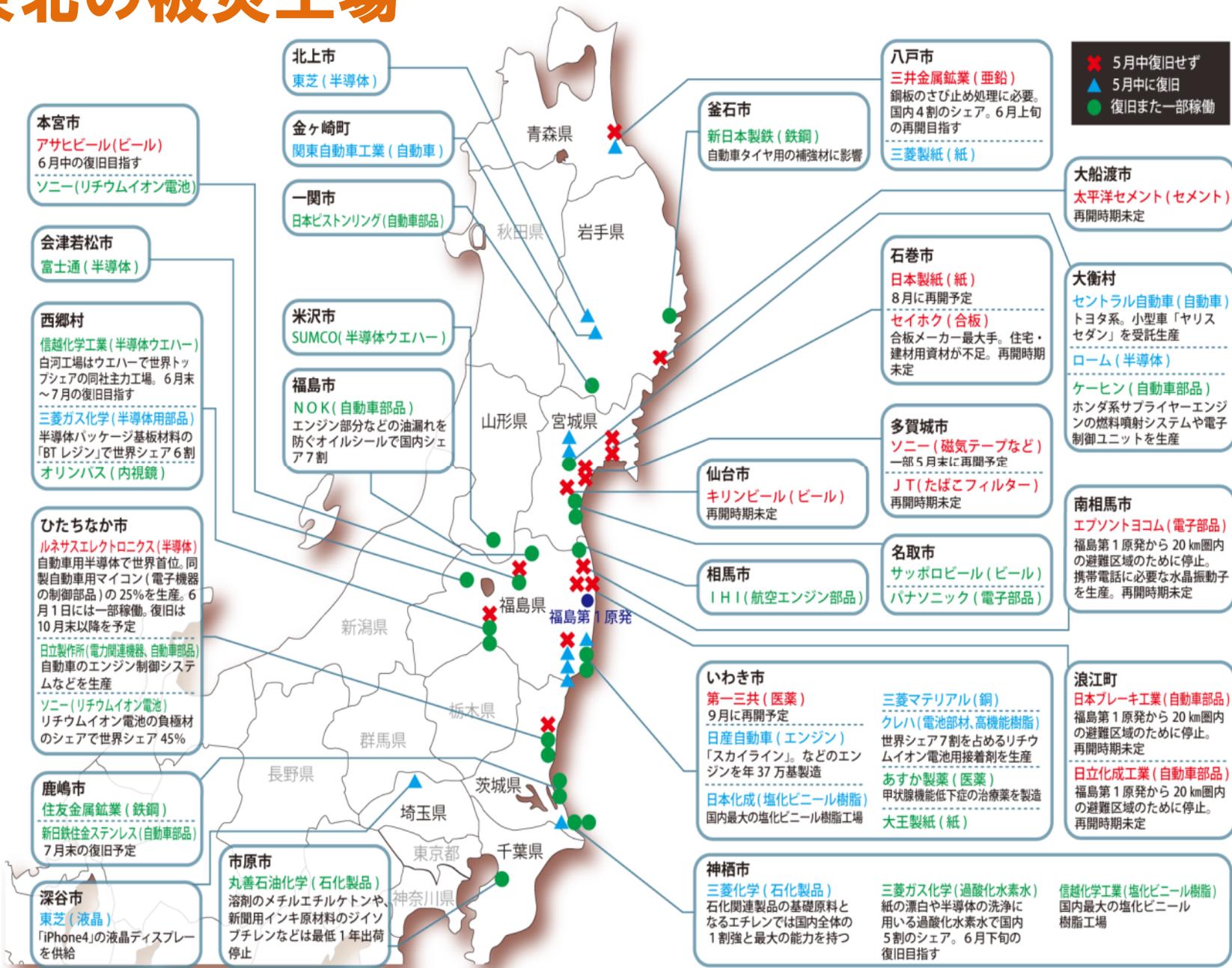


資料)毎日新聞(2011.5.19)HP

鹿島石油コンビナート/三菱化学(鹿島事業所)

- 三菱化学鹿島事業所は、石油化学製品の‘源流’に位置する。国内のエチレン供給量の1割以上(年間83万トン)を担う事業所が被災。
- その影響は鹿島コンビナート全体に及び、誘導品メーカーへの供給制限により、発砲ポリスチレン(自動車用バンパー)、ポリカーボネート(自動車ランプ)、合成ゴム(自動車用タイヤ)の生産に影響
- 三菱化学鹿島第2エチレンプラントは5/20再開
- 5月下旬になって急速に回復

東北の被災工場



2. 生産活動への影響 (2) 代替生産・増産

震災対応のために 九州で広がる 代替生産・増産

- 食品(ハウス食品、伊藤ハム、ヤクルト、サッポロビール、など)
- 電子(SUMCO伊万里、富士通グループ企業、東芝セミコンダクタ、など)
- 素材(新日鉄大分、JX日鉱日石エネルギー、など)

